

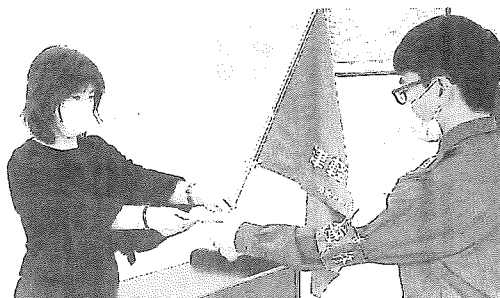
地域からのニュースと提言

「自信と誇りを持って」 新卒社員6人の配属式

青森
発

【報告 津軽警備保障】

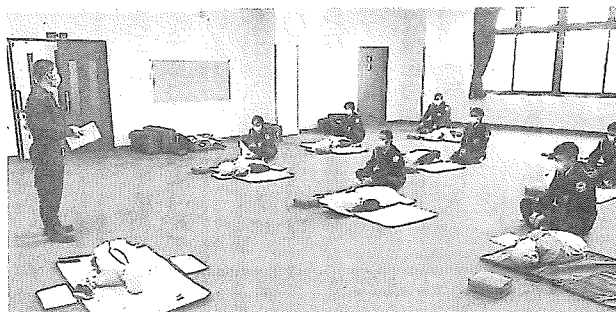
津軽警備保障(青森県弘前市、山口道子社長)は6月15日、2021年度新入社員の「配属式」を本社内で行った。新入社員は、今春高校を卒業し入社した男性6人。2か月半にわたって新任研修、施設整備や交通誘導警備の現場での研修などを経て正式に配属



山口社長(左)から辞令を受け取る新入社員(津軽警備保障提供。下も)

が決まり、山口社長から辞令を手渡された。

山口社長は「いよいよ明日から警備士として配属される。これまでとは与えられる役割も責任の重みも異なりま



消防署の救命講習に取り組んだ

す」と激励の言葉を贈りました。6人は式の翌日、弘前市内の大型工場施設3か所に、2人ずつ分かれて勤務に就いた。

同社は、長期的に企業の核

となる人材の育成を図るため昨年から新卒採用を開始した。新人の育成と定着促進に向けて、新卒者一人ひとりに直属の上司とは別に年齢の近い先輩が付いてサポートする「ブラザー・シスター制度」を導入している。

6人は入社以来、先輩社員から業務の内容や社会人の心構えなどについてアドバイスを受けた。弘前東消防署の普通救命講習に、昨年入社した社員とともに参加するなどして技能を身に付けた。

配属式後の昼食会では、新入社員が今の気持ちを次のように語った。

「警備の仕事は勉強から始まり、現場で覚えることが多く、対応も多岐にわたり本当に大変だと思った。しかし、ブラザーの先輩社員にフォロ

ーしてもらったおかげで、気持ちが楽になりました」。

「学生生活と異なり、言われたことだけを行っていたは駄目だと気付きました。一つひとつの行動の意義や目的を理解して、着実に実施することで『誰かのために役立てる』と考えるようになりました」。